

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
 政策目標 3 盛んな産業といろいろな働き場があり、成長するまちに
 重点的取組 3 将来の産業拠点をつくる

担当課名	分権政策部 経営政策課、都市活力企画室		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

事業名	計画調査事業	事業開始年度	平成 26 年度
	新都市活力創出拠点のまちづくり ほか	根拠法令 条例 個別計画等	

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民、企業	新都市活力創出拠点と位置付ける木材港地区について、将来を見据えた土地の有効・高度利用を図る。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	関係団体への意見聴取、将来に向けた方向性など、情報共有の徹底を図る。	県、木材港関連企業等	県策定の港湾計画との調整 木材港地区の現状や課題の情報提供

3 平成 27 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	(1) 新都市活力創出拠点のまちづくりに向けた取組み ・木材港地区の将来の土地利用のあり方について検討を行った。 (2) 民間事業者と連携したまちづくりの推進 ・シビックコア周辺地区に立地する大型商業施設内にある市民ホールの管理運営を行うとともに、まちの魅力をPRするため、市政情報の発信強化を図った。 【歳入】 市民ホール利用料 245,000 円 【歳出】 木材港土地利用関係（木材港地区） 委託料 3,888,000 円 市民ホールの管理運営 需用費（消耗品） 1,134,246 円 役務費（電話料） 52,432 円 委託料 2,331,343 円 使用料及び賃借料 145,800 円 備品購入費 1,252,152 円						
	コスト情報（円）	項目		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算①	①のうちH26から繰越	H27からH28へ繰越
		財源内訳	直接事業費 A		8,803,973		
			国庫支出金				
			県支出金				
			借入金（市債）				
			その他(使用料など)		245,000		
		市（市税など）		8,558,973			
	人件費(按分) B	人	1.00 人	8,458,000			
	総事業費(A+B)			17,261,973			
ト換算	①	人口(4月1日現在)	117,182 人	117,128 人			
	②	市民1人当たり		147			
到達目標	活動及び成果指標		単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	備考
	活動	県との調整や関係団体等のニーズの把握					
	成果	新たな活力を創出する土地利用の方向性を示す			方向性提示	方向性提示	